

和光市 報道発表資料 平成 24 年 7 月 17 日

タイトル	田中茂元和光市長が逝去されました
------	------------------

死亡者	田中 茂（大正 14 年 12 月 26 日生まれ） 元和光市長 在任期間：平成元年 5 月 26 日～平成 13 年 5 月 25 日
死亡年月日	平成 24 年 7 月 13 日（金）午後 11 時 56 分
死亡したところ	朝霞厚生病院（朝霞市大字浜崎 703）
死亡の原因	閉塞性動脈硬化症
葬儀日程	通夜 平成 24 年 7 月 21 日（土）午後 6 時から 告別式 平成 24 年 7 月 22 日（日）午前 10 時から 11 時 30 分 場 所 朝霞市斎場（朝霞市大字溝沼 1259-1）
喪主等	喪 主 田中一雪（長男） 葬儀委員長 松本武洋
氏の略歴 （市長就任以前）	大正 14 年 12 月福岡県生まれ。旧制豊山中学、清水高等商船学校（現東京商船大学）を経て、昭和 25 年、慶応義塾大学医学専門部卒業。同 26 年和光市で開業。同 35 年、慶應義塾大学生理学教室にて博士号を受ける。37 年から 59 年まで朝霞地区医師会会長を 11 期 22 年務める。そのほか、埼玉県医師会役員、日本医師会代議員などを歴任。財団法人関東福祉会・朝霞厚生病院会長、社会福祉法人三芳厚生福祉会・特別養護老人ホーム「みよし園」会長、介護老人保健施設「むさしの苑」会長、EM-X 予防医学研究所所長。主な著書「武見太郎を怒らせた男」（未来出版）、「狭き門より入れ」（未来出版）EM-X が生命を救う（サンマーク出版）など。
市長としての実績	別紙のとおり
問い合わせ先 担当課	課 名 秘書課 担当者名 橋本 久 電 話 048-424-9084（直通）

【別紙】

田中茂元和光市長は、将来都市像「みどり豊かな人間都市、和光」を市の基本方針とし、「高福祉・好環境・高教育」を市の経営理念をして個性豊かなまちづくりを進めました。

田中元市長が手掛けた主要な事業は次のとおりです。

市庁舎・市民文化センター建設

勤労福祉センター（愛称：アクシス）の建設

和光市老人保健福祉施設（和光市福祉の里）の建設

和光市駅南口駅前広場及び地下自転車駐車場整備

和光市立中央公民館の建設

老人医療費の助成

成人予防検診の無料化

予防接種（麻しん）の無料化

乳幼児医療費の助成

2歳児検診の実施（無料化）

1歳6か月検診に歯科検診（無料）を導入

成人歯科検診（無料）の実施

小児成人病検診の実施

3歳3か月児の視聴覚検診（無料）の実施

インフルエンザ個別接種（無料）の実施

超音波骨密度測定検査（無料）の実施

三種混合個別予防接種（無料）の実施

脳疾患検診（脳ドック）の実施

市民大学講座開講（市制20周年記念事業の一環として開校）

水と緑のまちづくり基金創設

市内循環バスの運行

EMによる生ゴミの堆肥化

アメリカ合衆国ワシントン州ロングビュー市と姉妹都市締結。中学生・市民の海外派遣。

災害時の相互応援協定締結

平成7年：長野県佐久市

平成8年：栃木県烏山町（現那須烏山市）、朝霞地区4市